

# 平成 30 年度冬作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 30 年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2019 年 9 月 12 日(木)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 26 名、委託関係者 29 名ほ

か、計 76 名の参集を得て、除草剤 13 薬剤(44 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、以下の判定表に示す通りである。

## 平成 30 年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

### A. 除草剤 (1)小麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. AH-01 液 グルホシネートPナトリウム 塩 11.5%  [北興化学工業 *Meiji Seika ファルマ]	実	一年生雑草	茎葉処理 (全面)	耕起または播種前 雑草生育期(草丈 15cm以下)	300~500mL 散布水量 100~150L	全土壌	東北以南	・周辺作物に飛散しないように注意する。	
			茎葉処理 (圃場内周 縁部)	小麦生育期・雑草 生育期(草丈30cm 以下)	300~500mL 散布水量100L		北海道		
2.HSW-062 フロアブル インダノファン 10.0% ジフルフェニカン 4.0%  [ホクサン]	実・継 (従来ど おり)	一年生雑草	土壌処理 (全面)	播種後出芽前, 雑草発生前	150~250mL 散布水量 70~100L	全土壌 (砂土を除 く)	北海道	・葉に白斑を生じる 場合がある ・イヌカミツレが多 発する圃場では高薬 量で使用する	・小麦3~6葉期処理で の効果・薬害の確認(北 海道)
				出芽直前~小麦3 葉期, 雑草発生始	100~200mL 散布水量 70~100L				
3. KUH-165 フロアブル ジフルフェニカン 7.4% ピロキサスルホン 7.4%  [クミアイ化学工業]	実	一年生雑草	土壌処理 (全面)	播種後~小麦3葉 期, 雑草発生始期まで	80~100mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除 く)	北海道	・葉に白斑を生じる場 合がある	
4.MAH-1801 フロアブル ジフルフェニカン 500g/L [アダマ・ジャパン]	-								
5.MAH-1802 フロアブル ベンディメタリン 400g/L [アダマ・ジャパン]	-								
6. UPH-004 液 グルホシネート 18.5%  [ユービーエルジャパン]	実・継	一年生雑草	茎葉処理 (全面)	耕起または播種前 雑草生育期(草丈 10cm以下)	300~750mL 散布水量 100 ~150L	全土壌	東北以南	・周辺作物に飛散しないように注意する。	・効果薬害の確認(耕起 または播種前, 圃場内 周縁部(北海道))
				播種後出芽前 雑草生育期(草丈 10cm以下)	300~750mL 散布水量 100 ~150L				
			茎葉処理 (圃場内周 縁部)	小麦生育期 雑草生育期(草丈 20cm以下)	300~750mL 散布水量 100 ~150L				

A. 除草剤 (1)小麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意		
7.ZH-1402 フロアブル 新規化合物A 30%  [全国農業協同組合連合会]	継									・効果、被害の確認(播種後出芽前, 出芽摘期, 小麦1~3葉処理)(北海道)
8. トリフルラリン 粒 トリフルラリン 2.5%  [日産化学]	実・継 (従来通り)	一年生雑草	土壌処理 (全面)	播種後出芽前 雑 草発生前	4~5kg	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ツユクサ, カヤツリグ サ, キク, アブラナ科 雑草を除く。 ・小麦生育期処理は, 播種後の土壌処理剤 との体系で使用する。	・北海道での小麦1~3 葉期(イネ科雑草1葉期 まで)の効果, 被害の確 認 ・体系処理でのカズノ グサに対する効果の確 認 ・小麦生育期, 雑草発 生前での効果被害の 確認(一年生広葉雑草)	
		一年生イネ 科雑草		小麦生育期 雑草発生前						東北以南
		カズノグサ		小麦生育期 中耕培土後 雑草発生前						

A. 除草剤 (2)大麦

1. トリフルラリン 粒 トリフルラリン 2.5%  [日産化学]	実・継 (従来通り)	一年生雑草	土壌処理 (全面)	播種後出芽前 雑 草発生前	4~5kg	全土壌(砂 土を除く)	(全域)	・ツユクサ, カヤツリグ サ, キク, アブラナ科 雑草を除く。 ・大麦生育期処理は 播種後の土壌処理剤 との体系で使用する。	・体系処理でのカズノ グサに対する効果の確 認 ・大麦生育期, 雑草発 生前での効果被害の 確認(一年生広葉雑草)	
				大麦生育期 雑草発生前						東北以南
		カズノグサ		大麦生育期 中耕培土後雑草発 生前						

A. 除草剤 (3)水稲刈跡

1.KUH-911 液 ビスピリバックナトリウム 塩2.0%  [クミアイ化学工業]	継									
2.NC-622 液 グリホサートカリウム塩 48%  [日産化学]	実・継	一年生雑草	茎葉処理 (全面)	水稲刈取後 雑草生育期(草丈 30cm以下)	200~500mL 散布水量 25~100L	全土壌	全域	・少量散布(5~6L, 25~50L/10a)の場 合は専用ノズルを使用 する	・ミズガヤツリ, オモダ カ, クログワイ以外の多 年生雑草に対する, 翌 年の発生量低減効果 の確認 ・一年生雑草, 多年生 広葉雑草(翌年の発生 量低減効果)の効果 被害の確認(水量5~6L)	
		多年生イネ 科雑草								500~1000mL 散布水量 5~6L, 25~ 100L
		多年生広葉 雑草								500~1000mL 散布水量 25~100L
		ミズガヤツリ, オモダカ, ク ログワイ (翌年発生低 減効果)		水稲刈取後 雑草再生時(草丈 30cm以下)						500~1000mL 散布水量 25~100L
3.YF-65L 液 ジクワット 7.0% パラコート 5.0%  [シンジェンタジャパン]	継								・雑草イネに対する密 度抑制効果の確認	

A. 除草剤 (4)水田畦畔

1.JC-401 粒 塩素酸ナトリウム 50%  [日本カーリット]	継								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--